埼医業Ⅰ第２４４３号

令和７年１月１０日

郡市・大学医師会長　　殿

埼玉県医師会長　金　井　忠　男
（公印省略）

ＡＩ機器の使用状況等に関するアンケートの実施について（依頼）

標記の件について、別添のとおり埼玉県保健医療部長から依頼がありました。

つきましては、貴会におかれましても内容をご了知いただき、貴会管下会員にご周知くださるようお願い申し上げます。

なお、本内容についての問合せは、下記担当者あてご連絡ください。

【埼玉県担当者】

担　当：保健医療部 企画幹　楡井（にれい）氏

電　話：048-824-2111（内線 3487）

メール：a3510-05@pref.saitama.lg.jp

担当：業務課業務Ⅰ担当　石川

電話：０４８－８２４－２６１１

ＦＡＸ：０４８－８２２－８５１５

保政第７０３－２号
令和７年１月１０日

一般社団法人埼玉県医師会
　会長　金井　忠男　様

埼玉県保健医療部長　表　久仁和(公印省略)

ＡＩ機器の使用状況等に関するアンケートの実施について（依頼）

本県の保健医療行政の推進につきましては、日頃格別の御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

今般、標記アンケートについて、別添のとおり実施することとしました。

つきましては、貴会の会員への周知について、特段の御配慮を賜りますようお願いいたします。

担当：保健医療部　企画幹
　　楡井（にれい）
電話：048-824-2111（内線 3487）

保政第７０３－１号
令和７年１月１０日

各医療機関　管理者　様

埼 玉 県 保 健 医 療 部 長
表　久仁和（公印省略）

ＡＩ機器の使用状況等に関するアンケートの実施について（依頼）

本県の保健医療行政の推進につきましては、日頃から格別の御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、ＡＩを活用した医療技術は日々進歩しており、ＡＩ機器の導入により、病気の早期発見、医療従事者の負担軽減などの効果が出てきているとの話を伺っており、高齢化に伴う医療需要の増加や医師の働き方改革などの地域医療の課題への対応や、質の高い医療の実現に寄与するものと考えております。

そこで、これらの地域医療の課題への対応などについて今後の施策検討の参考とするため、ＡＩ機器の使用状況や使用の効果などについてアンケートを実施させていただきます。

つきましては、お忙しいところ大変恐縮ですが、調査に御協力くださいますようお願い申し上げます。なお、回答結果を公表する場合は、医療機関名が特定されない形で実施いたしますことを申し添えます。

記

１　回答期限　　**令和７年１月３１日（金）まで**

２　回答方法

別添アンケート様式「ＡＩ機器の使用状況等に関するアンケート【埼玉県調査】」により、メール（提出先：a3510-05@pref.saitama.lg.jp）にて回答してください。

※回答はPDF等に変換せずにエクセルファイルのまま提出してください。

アンケート様式はホームページからもダウンロードできます。
https://www.pref.saitama.lg.jp/a0701/aityousa.html

３　アンケート内容

- 対象は県内の病院及び診療所、
- アンケート内容は貴院のＡＩ機器の使用状況、使用の効果、使用しない理由等

【問い合わせ先】
担　当 埼玉県保健医療部
企画幹　榆井（にれい）
電　話 ０４８－８２４－２１１１（内線３４８７）
メール a3510-05@pref.saitama.lg.jp

AI機器の使用状況等に関するアンケート【埼玉県調査】

　このアンケートは、医療機関におけるAI機器について使用状況、使用の効果、使用しない理由などを把握し、今後の施策検討の参考とするため埼玉県が実施するものです。
　回答については、県が集計を行い、医療機関名、担当者名と連絡先を伏せた形で、まとめさせていただきます。お忙しいところ誠に恐縮ですが、御協力をよろしくお願い申し上げます。

　本件についてのお問い合わせは、埼玉県保健医療部 企画幹 楡井（にれい）「a3510-05@pref.saitama.lg.jp」あて　お願いいたします。
（電話でのお問い合わせの場合には「048-824-2111 内線3487」までお願いします。）

二次保健医療件名（ドロップダウンリストから選択）	
所在地（市町村名）	
医療機関名【非公表】	
御担当者名【非公表】	
電話番号【非公表】	
メールアドレス【非公表】	

調　　査　　項　　目

※集計の都合上、シート名は変更しないでください。また、行や列の結合、加除は行わないでください。

問1　貴院の医療機関種別で該当するものに「○」を選択してください。

無床診療所	
有床診療所	
病　院	

問2　有床診療所又は病院の場合、貴院の病床数をドロップダウンリストから選択してください。

一般	
療養	
精神	
感染症	

（選択枝）

問3　貴院で使用している医療機器等に「○」を選択してください。

内視鏡	CT装置	MRI装置	X線撮影装置	眼底カメラ・OCT（光干渉断層計）	超音波診断装置	電子カルテ

問4　①で貴院で使用しているＡＩ機器について「○」を選択していただくとともに、②でAI機器の使用効果について、該当する項目に「○」を選択してください。また、AI機器を使用していない場合、③でその理由について、ドロップダウンリストから選択してください。

	①使用しているAI機器について「○」を選択してください	②AI機器の使用効果について該当する項目に「○」を選択してください（複数回答可）						③AI機器を使用していない場合、その理由をドロップダウンリストから選択してください（複数回答可　3つまで）		
		業務を効率化できた（従事者の負担軽減、作業時間の短縮など）	業務の正確性を上げられた（人的エラーの軽減など）	病気の早期発見につながった	収入面での効果があった（加算による報酬増、患者増など）	患者の負担が軽減できた（被ばく線量の低減、診察時間の短縮など）	目立った効果がなかった	選択1	選択2	選択3
病変を自動で検出・診断する医用画像診断補助AI（内視鏡での使用）										
病変を自動で検出・診断する医用画像診断補助AI（CTでの使用）										
病変を自動で検出・診断する医用画像診断補助AI（MRIでの使用）										
病変を自動で検出・診断する医用画像診断補助AI（X線撮影装置での使用）										
病変を自動で検出・診断する医用画像診断補助AI（眼底カメラ・OCT（光干渉断層計）での使用）										
病変を自動で検出・診断する医用画像診断補助AI（超音波診断装置での使用）										
AI 問診ツール										
転倒検知や見守り機器										
音声入力装置・アプリ（電子カルテ入力での使用）										
外国語翻訳装置（例：ポケトーク）やアプリ										
スキャン画像からの文字起こし（OCR）										
ケアプランやリハビリ等の計画作成AI										
薬歴や退院サマリ等の作成を支援する要約AI										

（選択枝）
①そもそも（CT、MRIなどの）機器を使用していない
②困っていない
③導入・維持コストが高い（本品部分）
④導入・維持コストが高い（インフラや外部機器との接続部分）
⑤診療報酬がついていない
⑥製品に出会う機会がない
⑦ＡＩの実力が不足している
⑧試しに使ってみる（ハンズオン）機会がない
⑨導入・使用できる人材がいない
⑩システム部門等の負担が増加する

問5　そのほか、貴院で使用しているAI機器について「○」を選択してください。

チャットボット	搬送ロボット	医用画像等を用いた類似症例検索	医用画像解析（研究支援側面）	放射線治療計画や生検前のコンツーリング（画像からの輪郭描出）	咽頭画像を使ったインフルエンザ診断支援	X線画像を用いたガーゼ遺残確認	映像から手術機器のサビの検出	ICU等での映像による自己抜管検知	生体モニターにおける低血圧イベント予測	低血糖・グルコース濃度予測	健診レポート等での未来の健康状態予測	脳画像や音声からの認知症リスク判定

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。